

**東京急行電鉄が展開する「一週間をゆったり過ごす」ライフスタイル提案商品
「ビッグウィーク」の展開を拡大
今後は他社とのアライアンスによる利用権交換ネットワークの拡充を図ります**

東京急行電鉄株式会社
株式会社東急ビッグウィークステーション

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條清文）が展開しているライフスタイル提案商品「ビッグウィーク」の交換サービス等を提供している東急ビッグウィークステーション（本社：東京都渋谷区、社長：角俊三、東京急行電鉄100%出資）では、2004年12月1日に、他社施設とも利用権の交換を行う組織「ビッグウィークパッケージネットワーククラブ」を設立、今後は他社に同組織への加盟を積極的に働きかけ、交換ネットワークの拡充を図ります。

東京急行電鉄では、1999年より「一週間をゆったり過ごす」ライフスタイル提案商品である「ビッグウィーク」を展開しています。これはスローライフをはじめとした、ゆったり感が求められる時代の中、今後、団塊の世代がリタイア期を迎え、時間的に余裕のある層が増大していく傾向にあることや、ハッピーマンデーの導入による連休の増加など、長期休暇が取りやすい環境の整備が進められていることなどを踏まえたものです。

「ビッグウィーク」は、1年間を51週に分割し、そのうちの1週間について、宿泊施設を20年間、10年間、5年間にわたって利用できる権利を販売するもので、長期滞在が可能となる施設・サービスの提供をしています。購入した1週間の権利を、他の会員が購入した週と交換利用できる「交換システム」により、様々なリゾートシーンを楽しむことができます。

東京急行電鉄では、これまで京都、軽井沢、蓼科、伊豆高原、箱根強羅の5施設を「ビッグウィーク」として展開してきました。さらにラインナップを充実させるため、2005年7月に初のホテルタイプ施設である「ビッグウィーク伊豆今井浜in東急リゾート」を開業するなど、今後も積極的に施設展開を進めてまいります。

また、東急ビッグウィークステーションは、日本初の本格的な利用権交換サービス会社として、これまで「ビッグウィーク」5施設間の交換サービスを提供してきたほか、施設運営や利用権販売を通じて、1週間をゆったり過ごしていただくための運営ノウハウ、効果的な販売手法、それらを総合した「ビッグウィーク」の商品企画ノウハウを蓄積してきました。

今回、業務を拡充し、交換サービスを中心に他社とのアライアンスを図っていくための仕組みである、「ビッグウィークパッケージネットワーククラブ」（略称：BWVNC）を新たに設立し、他社の加盟に向けての受け皿の整備を行いました。

これにより今後は、いままで蓄積してきたノウハウを生かし、他社に対しての提案活動を行うことで、交換サービスのネットワークであるBWVNCへの参画を積極的に働きかけていきます。

「ビッグウィークバケーションネットワーククラブ」および「株式会社東急ビッグウィークステーション」の概要は次の通りです。

「ビッグウィークバケーションネットワーククラブ (BWVNC)」概要

名 称	ビッグウィークバケーションネットワーククラブ (略称：BWVNC)
事業主体	株式会社東急ビッグウィークステーション
サービス内容	BWVNC加盟施設の会員に対して、以下のサービスを提供 加盟施設の交換利用、利用権の交換による施設利用 交換が成立した場合には交換手数料が必要 加盟施設の一泊単位の利用 別途宿泊料が必要 提携施設の優待料金での利用
発 足	2004年12月1日

「株式会社東急ビッグウィークステーション」概要

商 号	株式会社東急ビッグウィークステーション
代 表 者	取締役社長 角 俊三 (すみ しゅんぞう)
本社所在地	東京都渋谷区南平台町5番6号
設 立 日	1999年7月2日
営業種目	BWVNC会員の交換業務に関する事項 BWVNC会員の管理及び各種サービスの提供 ビッグウィーク施設の運営管理の受託 ビッグウィーク利用権の販売受託 他社施設に対する加盟活動 他社施設の運営管理の受託 他社施設の利用権の販売受託 前各号に付帯または関連する一切の業務
決 算 期	3月末 (年1回)
資 本 金	10百万円 (東京急行電鉄100%出資) 2004年12月14日に増資を実施予定 (資本金185百万円に)

以 上